

東京都立松が谷高等学校 令和4年度 年間授業計画

教科:(芸術)科目:(音楽Ⅱ) 対象:(第2学年1、2、4、5、6、7組)

使用教科書:音楽之友社 ON!2

使用教材:

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	学習 時数
4月	歌曲	芸術歌曲を味わいながら歌唱する	歌詞の意味を味わって歌唱しているか	2
	リズム打ち	リズム譜に慣れ、演奏できるようになる	自らリズムを読み取ろうとしているか	2
	ボディーパーカッション	リズム譜を読み取り、グループで協力しながらアンサンブル活動をする	リズム譜を積極的に読もうとしているか グループで協力して練習できたか	2
5月	歌曲	芸術歌曲を味わいながら歌唱する	歌詞の意味を味わって歌唱しているか	2
	リズム打ち	リズム譜に慣れ、演奏できるようになる	自らリズムを読み取ろうとしているか	2
	ボディーパーカッション	リズム譜を読み取り、グループで協力しながらアンサンブル活動をする	リズム譜を積極的に読もうとしているか グループで協力して練習できたか	3
	ミュージカル	一つ一つのナンバーを味わいながら鑑賞する	興味をもって集中して鑑賞できたか プリント提出	3
6月	ボディーパーカッション	リズム譜を読み取り、グループで協力しながら発表会に向けてアンサンブル活動をする	発表会	3
	ミュージカル	一つ一つのナンバーを味わいながら鑑賞する	興味をもって集中して鑑賞できたか プリント提出	3
7月	ボディーパーカッション	リズム譜を読み取り、グループで協力しながら発表会に向けてアンサンブル活動をする	発表会	2
8月				
9月	箏	箏の調弦ができるようになる 基礎的な奏法を習得する	調弦ができるようになったか 基礎的な奏法を丁寧に練習できているか	6
10月	箏	箏の調弦ができるようになる 基礎的な奏法を習得する	調弦ができるようになったか 基礎的な奏法を丁寧に練習できているか	8
11月	箏	日本的な間を感じながら演奏・発表する	間を大切にしつつ、基本に忠実に発表できたか	8
12月	箏	日本的な間を感じながら演奏・発表する	間を大切にしつつ、基本に忠実に発表できたか	2
1月	アンサンブル	課題曲から選択した曲を発表しあう	楽曲にアレンジ等を加え、工夫を凝らした発表ができたか	4
2月	アンサンブル	課題曲から選択した曲を発表しあう	楽曲にアレンジ等を加え、工夫を凝らした発表ができたか	6
3月	アンサンブル	課題曲から選択した曲を発表しあう	楽曲にアレンジ等を加え、工夫を凝らした発表ができたか	2

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術

教科：芸術

科目：音楽I

単位数：2

対象学年組：第1学年 1組～9組

教科担当者：（繁田）

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わつ

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高

科目 音楽I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞
			歌	器	創	
1 学期	<p>【知識及び技能】 初めて触れるイタリア語の響きや独特なつづりに興味を持つ。 楽譜の仕組みや書き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を考えるように心がける。 歌唱を通して、聞く人に自分の感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・イタリア歌曲 Caro mio ben O sole mio Lascia ch'io pianga Nessun dorma Ombra mai fu ・楽譜に親しむ</p>	○	○	○	<p>①イタリア歌曲を聴く ②イタリア語の歌詞 ③美しいとされる音 ④楽譜の仕組みを理解 ⑤イタリア歌曲の構造的に捉え、問題を音楽的事象との関係性を考察 ⑥イタリア歌曲のよさを評価 ⑦イタリア歌曲のよさを評価・改善したりし</p>
	<p>【知識及び技能】 英語の歌の響きに興味を持つ。 物語と音楽、歌と踊りと演技が同時に進行することに興味を持つ。 楽譜の仕組みや書き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 原語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を考えるように心がける。 歌唱を通して、聞く人に自分の感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・ミュージカルと英語の歌 West Side Story Tonight America Amazing Grace Oh Happy Day A Whole New World Imagine ・楽譜の仕組みを知る</p>	○	○	○	<p>①ミュージカルを観る ②英語の歌詞で歌う ③美しいとされる音 ④楽譜の仕組みを理解 ⑤ミュージカルなどを音楽的に捉え、微や他の事象との関係性を考察したりしている。 ⑥ミュージカルを観察を深めたり評価・</p>
2 学期	<p>【知識及び技能】 ギターの響きに興味を持つ。 ギターの演奏法に興味を持つ。 楽譜の仕組みや書き方の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ギターを弾きながら、音の出る仕組みやコードの構成について考えるように心がける。 ギターを通して、聞く人に自分の感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・器楽（ギターを中心に） ギターの知識 ギターの奏法 ・楽譜の知識を深める。</p>	○	○	○	<p>①ギターのコードを知る ②ギターを楽譜に従って弾く ③美しいとされる音 ④楽譜やコードネー ⑤ギターの構成要素を捉え、問題を解決したとの関係を考察したり ⑥ギターのよさを評価 ⑦ギターの演奏に評価・改善したりし</p>
	<p>【知識及び技能】 フランス音楽の響きに興味を持つ。 物語と音楽、歌と演技が同時に進行することに興味を持つ。 初歩のソルフェージュ力をつける。 【思考力、判断力、表現力等】 原語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を表現するように心がける。 歌唱を通して、聞く人に自分の感情を表現するようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・オペラとフランス音楽 椿姫 乾杯の歌 誰も寝てはならぬ 黒い猫が欲しかった 愛の賛歌</p>	○	○	○	<p>①歌劇のナンバーを知る ②フランス語の歌詞 ③美しいとされる音 ④楽譜を迅速に読める ⑤歌劇の構成要素を捉え、問題を解決したとの関係を考察したり ⑥歌劇のよさを評価 ⑦歌劇の学習において評価・改善したりし</p>

3 学 期	<p>【知識及び技能】 様々な音楽の響きに興味を持つ。 音の響きに合わせて作曲をする。 ソルフェージュ力を向上させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本音楽に触れながら、歌詞の意味の表現に目を向けるように心がける。 創作活動を通して、聞く人に自分の感情を表現するようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・様々な音楽 日本の音楽 アジアやアフリカの音楽 創作 In wunderschönen Monat Mai 野ばら 時の旅人</p>					<p>①様々な音楽を楽譜 ②様々な音楽を原語 ③その音楽にふさは ④楽譜を迅速に書く ⑤日本やアジア、ア の事象などを音楽的 楽的な特徴や他の耳 ⑥日本やアジア、ア しようとしている。 ⑦創作活動において 改善したりしようと</p>
	○	○	○	○			

科目 音楽 I

単位

)

基づいて表現するための技能を身に付けるよ

たりすることができるようにする。

め、心豊かな生活や社会を創造していく態度

【学びに向かう力、人間性等】

主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>楽譜に従って歌うことができる。 司で歌うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 理解する。 構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽解決したり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の事象と関係したりすることができる。 よさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>ノクターンを楽譜に従って歌うことができる。 うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 理解する。 ノクターンの構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象な問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や関係を考察したりすることができる。 ノクターンのよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとする。</p> <p>ノクターンの演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>わかる。 ぞって演奏したり弾き語りしたりすることができる。 音色で演奏するように心がける。 リズムの仕組みを理解する。 リズムの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽的に捉えたり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の事象と関係したりすることができる。 認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 演奏において、粘り強く練習し、その過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>楽譜に従って歌うことができる。 司で歌うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 取ることができる。 司の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽的に捉えたり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の事象と関係したりすることができる。 識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたりしようとしている。</p>	○	○	○	14

<p>音に従って歌うことができる。 音で歌うことができる。 正しい発声方法で歌うように心がける。 歌うことができる。 アフリカの音楽の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会 的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の音 事象との関係を考察したりすることができる。 アフリカの音楽のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用 して、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・ している。</p>	○	○	○	16
				合 計
				70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2

対象学年組：第2学年 3組～6組

教科担当者：（繁田）

使用教科書：（教育芸術社 高校生の音楽2）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽とともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能；

【思考力、判断力、表現力等】 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、ことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るくする。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解する。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について自ら味わって聴くことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	
			歌	器	創		
1 学期	<p>【知識及び技能】 イタリア語の響きの美しさを味わう。 楽譜の仕組みや書き方に理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 イタリア語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を考えるように心がける。 歌唱を通して、自分の思いや感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・イタリア歌曲 うつろの心 カタリカタリ 優雅な月よ ・楽譜に親しむ</p>	○		○	○	<p>①イタリア歌曲を聴く ②イタリア語の歌詞 ③美しいとされる音 ④楽譜の仕組みの理 ⑤イタリア歌曲の構造的に捉え、問題を音楽的事象との関係を考察 ⑥イタリア歌曲のよさを評価・改善したりし</p>
	<p>【知識及び技能】 英語の歌の響きの美しさを味わう。 物語と音楽、歌と踊りと演技が同時に進行することに興味を持つ。 楽譜の仕組みや書き方の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 原語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を考えるように心がける。 歌唱を通して、自分の思いや感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・ミュージカルと英語の歌 王様と私 Shall we dance? Born This Way ・楽譜の仕組みを理解する</p>	○	○	○	○	<p>①ミュージカルナンバー ②英語の歌詞で歌う ③美しいとされる音 ④楽譜の仕組みの理 ⑤ミュージカルナンバーを音楽的に捉え、問題を音楽的事象との関係性を考察したり ⑥ミュージカルナンバーのよさを評価・改善したりし</p>
2 学期	<p>【知識及び技能】 ギターの響きの美しさを味わう。 ギターの演奏法に理解を深める。 楽譜の仕組みや書き方の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ギターを弾きながら、音の出る仕組みやコードの構成について考えるように心がける。 ギターを通して、自分の思いや感情を伝えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・器楽（ギターを中心に） ギターの知識 ギターの奏法 ・楽譜の知識を深める。</p>	○	○	○	○	<p>①ギターのコード ②ギターを楽譜に読む ③美しいとされる音 ④楽譜やコードネー ⑤ギターを構成要素として捉え、問題を解決したり ⑥ギターのよさを評価・改善したりし</p>
	<p>【知識及び技能】 フランス音楽の響きの美しさを味わう。 物語と音楽、歌と演技が同時に進行することに興味を持つ。 ソルフェージュをより向上させる。 【思考力、判断力、表現力等】 原語で歌いながら、歌うだけでなく歌詞の意味を表現するように心がける。 歌唱を通して、自分の思いや感情を表現するようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するように心がけさせる。</p>	<p>・オペラとフランス音楽 フィガロの結婚 ドン・ジョヴァンニ 魔笛 おれは鳥刺し ロウ人形、音人形</p>	○	○	○	○	<p>①オペラのナンバー ②フランス語の歌詞 ③美しいとされる音 ④楽譜を迅速に読め、問題を解決したり ⑤オペラの構成要素として捉え、問題を解決したり ⑥オペラのよさを評価・改善したりし</p>

		愛の喜び 夢のあとに				
3 学 期	<p>【知識及び技能】 様々な音楽の響きに興味を持つ。 音の響きに合わせて作曲をする。 ソルフェージュ力をより向上させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本音楽に触れながら、歌詞の意味の表現に目を向けるように心がける。 創作活動を通して、自分の思いや感情を表現するようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習を通して、自己の課題を発見し、成長につなげるとともに、音楽に興味をもって自ら様々な音楽に接するよう心がけさせる。</p>	<p>・様々な音楽 平家物語 義太夫節 ラーマ物語 創作 君はまるで花のよう</p>	○	○	○	○
						<p>①様々な音楽を楽譜 ②様々な音楽を原語 ③その音楽にふさは ④楽譜を迅速に読み ⑤日本やアジア、フ の事象などを音楽自 楽的な特徴や他の耳 ⑥日本やアジア、フ しようとしている。 ⑦創作活動において 改善したりしようと</p>

科目 音楽Ⅱ

単位

)

楽の多様性について理解を深めると
を身に付ける。

らよさや美しさを深く味わって聴く

を愛好する心情を育むとともに、感
く豊かなものにしていく態度を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、
生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むととも
に、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によっ
て生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度
を養う。

評価規準	知	思	態	配 当 時 数
楽譜に従って歌うことができる。 声で歌うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 理解を深める。 構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽 解決したり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の 異なったりすることができる。 よさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしてい 演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深め たりしようとしている。	○	○	○	12
カバーを楽譜に従って歌うことができる。 うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 理解を深める。 カバーの構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象な 問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特 徴を考察したりすることができる。 カバーのよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようと カバーの演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考 ・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
がわかる。 きって演奏したり弾き語りしたりすることができる。 音色で演奏するように心がける。 リズムの仕組みを理解する。 関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽的に捉 えたり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の事象と 異なったりすることができる。 認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 演奏において、粘り強く練習し、その過程を振り返って考察を深めたり しようとしている。	○	○	○	14
と楽譜に従って歌うことができる。 声で歌うことができる。 歌声方法で歌うように心がける。 書きすることができる。 関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを音楽的に捉 えたり、解決の過程を振り返って事象の音楽的な特徴や他の事象と 異なったりすることができる。 識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 演奏において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評 判しようとしている。	○	○	○	14

<p>音に従って歌うことができる。 舌で歌うことができる。 正しい発声方法で歌うように心がける。 ♪書きすることができる。 アフリカの音楽の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会 的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の音 事象との関係を考察したりすることができる。 アフリカの音楽のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用 して、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・ している。</p>	○	○	○	16
	合計			

